

次に、第5の柱

『人と自然が共生した、自然・生活環境づくり』についてであります。

自然環境の保全につきましては、昨年6月に、念願でありました男三瓶山頂トイレの供用が開始されました。引き続き、清潔なトイレの維持管理ができるよう、地元協議会と連携して取り組んでまいります。

ごみの処理や資源物のリサイクルにつきましては、今後も、処理施設の必要な設備更新の実施や安定的な施設運営に務めるとともに、ごみの減量化及び資源物の分別化に向けた取り組みを推進してまいります。

可燃物収集運搬等の業務につきましては、市民サービスの向上と業務の効率化等を図るため、一般廃棄物の処分は行政の責任であることを改めて認識したうえで、令和9年4月の民間への委託に向けて、受託候補者との詳細な調整を図ってまいります。

水道事業につきましては、4月から水道料金を改定し、経営の健全化を図るとともに、水道ビジョンの基本方針である「強靱・持続・安全」に基づき、老朽管路の更新等による耐震化の推進や、機器更新を計画的に実施し、安全・安心な水道水の安定的な供給に努めてまいります。